

腹部エコー実技スクール 〈TOS Step3〉

今、私たちには検査精度と効率が求められています

「見落としのない検査 精度の高い検査出来ていますか？」

2014年4月、日本消化器がん検診学会、日本超音波医学会、日本人間ドック学会から**腹部超音波検診判定マニュアル**が示されました。これは判定基準を普及させるとともに検査法の質的向上と均質化を諮り、将来的には腹部超音波検診のがん検診として精度評価ならびに有効性評価を目指すための手法と考えられます。

この中で提案された走査法においては10分以内に検査を終える技術が求められています。もちろん精度をおろそかにすることはできません。『**臍尾部**』『**胆嚢壁**』『**肝の隅々**』などはしっかりと観察できていますか？私どもの推奨する『**超音波検査法フォーラムの基本走査法**』(<http://www.museforum.org/> 参照)はこれを満足できる検査方法と考えています。

超音波検査法フォーラムの加盟実技スクールは**東京以外では福岡のみの開催**となります。**少人数制‘1班6名’、実技時間‘310分’**これを機会に基本走査法をマスターしませんか？

日時：平成27年3月22日（日曜日）

会場：博多駅バスターミナル9F（博多駅中央街2-1）

主催：TOS (Team OITA Sonographers)

共催：超音波検査法フォーラム

協賛：東芝メディカルシステムズ株式会社

会費：27000円（税込） 定員30名

スケジュール

9:00 受付開始

9:30 オリエンテーション

9:35 レクチャー1 “究極の精度と効率～基本走査法～”

TOS (大分県済生会日田病院) 検査士 吉村昭宏

10:20 実技1 仰臥位、左側臥位でのポイント

12:10 ランチョンセミナー “肝区域 八つの物語”

医療法人長村医院 (北九州市) 医師 馬場三男先生

13:00 実技2 座位、右側臥位でのポイント

14:50 実技3 さあ基本走査法の実践です

16:50 レクチャー2 “なぜ見落としは起こるのか？～腹部エコーの死角を攻める～”

TOS (メディテックアシスト) 検査士 谷村勝宏

17:30 閉会

申し込みはTOSのウェブサイトから、<http://tos.yu-yake.com> 研修会案内のページへ